

- 問1 日本の金融システムにおける資金の流れのうち、企業が株式を発行して資金を調達する「直接金融」の説明として、最も適切なものはどれか。
(2021年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 個人が自動車の購入などの消費を目的として、金融機関から一時的に資金を借りる仕組み。 | 2. 日本銀行が景気調整のために、市中銀行に資金を供給したり回収したりする仕組み。 | 3. 企業が発行した有価証券を、資金の出し手が直接購入することで資金を融通する仕組み。 | 4. 銀行が家計から預金として集めた資金を、銀行自身の判断で企業に貸し出す仕組み。 |
|--|---|---|---|
- 問2 不景気の際に日本銀行が行う金融政策のうち、一般の銀行から国債などを買い取る「買いオペレーション」の目的と仕組みを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2023年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 銀行が保有する資金量を減らし、市場の通貨流通量を制限することで、物価の上昇を抑える。 | 2. 銀行が保有する資金量を減らし、貸し出し金利を上げることで、過剰な消費を抑える。 | 3. 銀行が保有する資金量を増やし、貸し出し金利を下げることで、企業への融資を促す。 | 4. 銀行が保有する資金量を増やし、預金金利を上げることで、個人の貯蓄を促進する。 |
|---|--|--|---|
- 問3 日本銀行が景気を向上させるために実施する「買いオペレーション」という仕組みと、その結果として期待される物価の動きの組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売り、代金を受け取ることで通貨量を増やし、物価を上昇させる。 | 2. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、代金を支払うことで通貨量を減らし、物価を安定させる。 | 3. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売り、代金を受け取ることで通貨量を減らし、デフレーションを維持する。 | 4. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、代金を支払うことで通貨量を増やし、物価を上昇させる。 |
|--|--|--|--|
- 問4 現代の経済において、銀行などの金融機関に預けられている「預金」が、紙幣や硬貨といった現金とともに「通貨」として扱われる理由として、最も適切な説明はどれですか。
(2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 国債や地方債と同様に、政府が発行して市場の通貨量を直接的に調整する役割を担っているため | 2. 日本銀行のみが発行を許されており、その価値が金（ゴールド）の保有量と常に連動しているため | 3. キャッシュレス決済や口座振替などを通じ、現物を使わずに代金の支払いに利用できるため | 4. 株式と同様に、企業に資金を提供することで利益の配当を得るための投資手段として特化しているため |
|--|---|--|---|
- 問5 日本銀行が「銀行の銀行」としての役割を果たし、民間の金融機関との間で資金をやり取りすることによって実現しようとしている、最も重要な経済上の目的は何ですか。
(2026年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|-----------------------------|--------------------------|-----------------------|
| 1. 外国との貿易における輸出額を増やすこと | 2. 政府の公共事業に必要なすべての資金を供給すること | 3. 物価を安定させ、経済の健全な発展を図ること | 4. 民間の金融機関の利益を最大化すること |
|------------------------|-----------------------------|--------------------------|-----------------------|
- 問6 日本銀行が景気回復を目指して実施する「買いオペレーション」において、国債の売上が市場の金利や企業の活動に与える影響として正しいものはどれですか。
(2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 日本銀行が国債を売り出すことで、銀行の持つ資金が増え、企業の倒産を防ぐ効果がある。 | 2. 日本銀行が国債を売り出すことで、市場の通貨量が不足し、金利が上がって景気の過熱が抑制される。 | 3. 日本銀行が国債を買い取ることで、銀行の貸し出し資金に余裕ができ、金利が下がって企業の設備投資が促される。 | 4. 日本銀行が国債を買い取ることで、市場の通貨量が減り、物価の上昇を抑える効果がある。 |
|--|---|---|--|
- 問7 好況期において、日本銀行が「売りオペレーション」を行う主な目的と、その仕組みを説明した文として正しいものを次から選びなさい。
(2020年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--|---------------------------------------|
| 1. 市場の通貨量を増やすことで金利を低下させ、企業の投資を促進するため。 | 2. 市場の通貨量を減らすことで金利を上昇させ、景気の行き過ぎを抑えるため。 | 3. 通貨の流通を活発にすることで失業率をさらに下げ、国民所得を増やすため。 | 4. 日本銀行の保有する国債を減らすことで、政府の財政赤字を解消するため。 |
|---------------------------------------|--|--|---------------------------------------|
- 問8 家計から預かった預金を、銀行などの金融機関が仲介役となって企業に貸し出すことで、企業が事業活動に必要な資金を調達する仕組みを何といいますか。
(2024年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. 公開市場操作 | 2. 直接金融 | 3. 間接金融 | 4. 信用創造 |
|-----------|---------|---------|---------|
- 問9 不景気の際に、日本銀行が景気を刺激して回復を図るために行う「公開市場操作」について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせを選びなさい。「日本銀行が民間の銀行から国債を（①）ことで、市場に流通する通貨量を増やし、金利を下げて企業が資金を借りやすくする。この操作を（②）という。」
(2019年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|-----------------------|---------------------|------------------|
| 1. ①：買い入れ ②：預金準備率操作 | 2. ①：買い入れ ②：買いオペレーション | 3. ①：売却 ②：売りオペレーション | 4. ①：売却 ②：公定歩合操作 |
|---------------------|-----------------------|---------------------|------------------|
- 問10 景気が悪化し、企業の倒産や失業者の増大が懸念される状況において、日本銀行がとるべき「買いオペレーション」の仕組みについて正しく説明しているものを選びなさい。
(2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---------------------------------------|
| 1. 日本銀行が民間銀行に対して預金準備率を上げるよう指示し、貸し出しを制限させる。 | 2. 政府が発行した新しい国債を日本銀行が直接すべて引き受け、公共事業の資金に充てる。 | 3. 日本銀行が民間銀行から国債を購入し、その代金を支払うことで市場に資金を供給する。 | 4. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売却し、市場から資金を吸い上げる。 |
|--|---|---|---------------------------------------|
- 問11 不況（不景気）の際、日本銀行が景気を回復させるために行う金融政策として、適切な説明はどれですか。
(2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 日本銀行が一般の銀行へ国債を売り、市場の通貨量を増加させる。 | 2. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を減少させる。 | 3. 日本銀行が一般の銀行から国債を買い、市場の通貨量を増加させる。 | 4. 日本銀行が一般の銀行へ国債を売り、市場の通貨量を減少させる。 |
|-----------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
- 問12 企業が株式や社債を発行して、家計などの投資家から資金を調達する「直接金融」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。
(2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 企業が過去の営業活動で得た利益を社内に蓄積し、そこから必要な設備投資の費用をまかなう。 | 2. 日本銀行が民間金融機関に資金を貸し出し、市場に流通する通貨の量を調整することで景気を安定させる。 | 3. 銀行が預金者から集めた資金を、銀行自身の責任で企業に貸し付けるため、預金者は貸付先の経営リスクを負わない。 | 4. 投資家が株式などを購入することで企業に直接資金を提供し、企業の業績や倒産などのリスクを投資家自身が負う。 |
|--|---|--|---|